

令和2年・特許公報読み方教室(第五期)

- 講習：機械系を中心とした特許公報の読み方を習得する。
- 日程：令和2年1月～3月(月1回)
- 時間：18時30分～20時30分
- 場所：アーチウェイH・Cビル3階 Kyoto de Meeting
(京都駅八条口徒歩2分/地図裏面)
- 講師：弁理士(日本弁理士会関西会京都地区会による選出)
- 定員：15名
- 対象：3回シリーズを通して参加できる技術者
- 参加費：無料

収集した特許公報の技術内容や権利範囲をチェックしたいけど、公報の読み方がわからない。
他社の特許公報を読みたいけどスムーズに読めない。
請求項を読んでもさっぱり頭に入ってこない。
明細書に書かれた権利範囲、実施例や技術のポイントを理解するのは大変だ。

昨年度より、京都発明協会は日本弁理士会関西会京都地区会と共催で、こんな悩みを持つ開発系の技術者の方々を対象に「特許公報読み方教室」を開催しております。この教室は三回シリーズで、初回は座講で公報の読み方の基本を勉強し、次の2回の教室では特に演習時間を十分に設けるとともにワークショップやディスカッションを通じて特許公報の読み方を訓練します。しかも、読み方訓練には、受講者が担当する開発製品に関する特許公報を教材にすることにより、技術を理解した上で発明がどのように請求項に表現されているか、また請求項+実施例(図面)のセットで発明内容や重要なポイントを読み取る技術を習得できるようにしております。また、受講者のリクエストに応え、他社の特許公報についても読み方も指導します。これらの訓練により、特許公報への抵抗感をなくすことを目指します。

最終的には、技術者自身が技術情報として特許公報を活用したり、先行技術を分析して技術開発に役立てたりできるようになり、企業の基礎的な知財力の向上並びに技術者育成にもつながります。



公報読み方の第1回目の教室は、読み方の基本を学習する



公報読み方の第2・3回目の教室は、少人数グループに分かれて個別公報の読み方を指導、ディスカッションする

第1回～3回シラバス(機械系特許公報の読み方を習得する)

第1回 簡単な特許公報を読みながら、公報の基礎を理解しよう!

日時：1月22日(水) 18時半～20時半

講師：弁理士・龍竹 史朗 氏、中西 康文 氏、中村 惇志 氏

内容：①特許公報の種類(特許公報、公開特許公報、公表特許公報、再公表特許公報など) ②各頁の構成 ③特許請求の範囲の読み方、意味 ④詳細な説明および図面の読み方、意味 ⑤要約書の位置づけ

第2回 自社の公開特許公報を読みながら、理解しよう!

日時：2月19日(水) 18時半～20時半

講師：弁理士・龍竹 史朗 氏、中西 康文 氏、中村 惇志 氏

内容：①特許請求の範囲の検討 ②詳細な説明および図面の検討
③ディスカッション
2～3人の小グループに分け、マンツーマン型で読み方をサポートします。

第3回 自社、又は他社の特許公報を読みながら、理解しよう!

日時：3月11日(水) 18時半～20時半

講師：弁理士・龍竹 史朗 氏、中西 康文 氏、中村 惇志 氏

内容：①特許請求の範囲の検討 ②詳細な説明および図面の検討
③ディスカッション
2～3人の小グループに分け、マンツーマン型で読み方をサポートします。

場 所：アーチウェイH・Cビル3階 Kyoto de Meeting
(京都市南区東九条西山王町 16-5)

■申込みについて

- ◎定員になり次第締め切りとさせていただきます。
- ◎受講証等の発行はいたしませんので、当日、直接会場へお越し下さい。
- ◎個人情報、当事業の実施及び主催者からの情報提供のみに利用させていただきます。
- ◎確認メールが届かない場合は、京都発明協会までご連絡下さい。

◆申込フォーム：<https://forms.gle/WMPRxdDZJJU4XjAr9>

◆E-mail：hatsumei@ninus.ocn.ne.jp

*件名に必ず「令和元年度・特許公報読み方教室」とご記載下さい。

①氏 名 _____

②企業(団体)名 _____

③所 属 _____

④所在地 〒 _____

⑤連絡先 TEL： _____ () _____

⑥E-mail： _____

■お問い合わせ先 一般社団法人京都発明協会 京都市下京区中堂寺南町134
TEL：075-315-8686 e-mail：hatsumei@ninus.ocn.ne.jp

受講者から感想(抜粋)

- 読み方の基礎(手法)を指導いただいたことが役に立った。
- 時間をかけて公報を読み、読取るポイントを設問形式にいただいたので、集中して課題に対応できました。
- 公報からブロック図を描く手法は大変参考になり、今後公報を理解する上で非常に役立つ。
- 読み方は非常にわかりやすかった。請求項に書かれている内容からその技術を侵害しない考え方をディスカッションすることができた。
- 少人数のグループで質問しやすい雰囲気であった。
- 教室に参加して、公報を読んだことがなかった方が明細書を抵抗感なく読めるようになったと感じております。
- 請求項を読めるようになるにはもう少し時間がかかりそうです。最終回で、請求項の読み方についてアドバイスを頂ければもっとよかったですと思いました。



(★印は教室場所)



参加のお申し込みは、
QRコードからも簡単に
できます。

